



Title	Sprache und Kultur 44号 編集後記・奥付
Author(s)	
Citation	Sprache und Kultur. 2025, 44
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/100538
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

2024年1月9日早朝、突然の悲報に驚かされた。当教室の大先輩であり、多くの卒業生にとって良き師であった市川明先生が前日の1月8日に、突然天に召されたという知らせがご家族からもたらされたのだ。しかも、編集子の手元には9日の夕方、先生の手書きの年賀状が届いた。そのことはあまりにも急に先生が私たちのもとを去ったのだという喪失感をいっそう強く感じさせた。そして、その後しばらくは、あの独特の口調で「もしもし、僕やけど」と電話がかかってくるのではないかと考えてしまふこともしばしばであった。

先生、こんなに早く私たちを置いていくとは。お別れにはあまりにも早すぎました。せめて、安らかにお眠りください。

なお、当紀要の発行にあたり、今年も松本工房の松本久木氏には親身にご対応いただきいた。松本氏にこうしてお世話になっているのも市川先生が結んだ縁である。

執筆者（執筆順）

- 井上健太郎 日本学術振興会特別研究員 (DC2)／
大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程
有本竜馬 アルベルト・ルートヴィヒ大学フライブルク哲学部学際人類学
修士課程
狩野伸博 大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻 博士前期課程
-

SPRACHE UND KULTUR 44

2025年3月31日発行（非売品）

編集・発行 大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻ドイツ語教室
〒562-8678 大阪府箕面市船場東3-5-10
大阪大学箕面キャンパス
E-mail: handaigaigodeutsch@gmail.com
組版 松本久木（松本工房）